



**人・まち・アーツ前橋をつなげる
ヴィジュアルアイデンティティ**

今回は、アーツ前橋のヴィジュアル・アイデンティティについて紹介します。聞き慣れない言葉かもしれませんが、施設のシンボルマークであるロゴマークや館内サインなどを統一して視覚的に表現することです。

アーツ前橋のシンボルとなるロゴマー

アーツ前橋探検

vol.2



ク(右下)は、前橋の「前」とローマ字の「M」をモチーフに構成しています。漢字とアルファベットの組み合わせが斬新です。担当したのは、「キリン生茶」などのデザインを手がけたブランディングデザイナー・西澤明洋さん(37歳)です。

また、館内サインのデザインは、建物外観を覆う白いパンチングメタルがモチーフ。このパンチングメタルの穴を基点として「点と点をつなぐ線」をコンセプトとしてデザインしました。一つ一つの点は、人やまち、アーツなどのさまざまな要素を表します。点と点に線を引き、つなげることで浮かび上がるデザインは、今まで何もなかった空間に新たな形を創り出すアートの創造力を表現しています。

アーツ前橋の活動を通して、人と人、人とまちをつなげていきたいという思いが込められています。サインは、誘導案内や消火器の表示、トイレのピクトグラムなど細かいところまでその形態を統一しています。開館した際は、ぜひ、館内サインの鑑賞もお楽しみください。

問い合わせは
芸術文化推進室 ☎027-233001144

野菜を見て楽しみおいしく食べて



**安全・安心な野菜で
地域に貢献**

長谷川 和俊さん 44歳㊦
恵理子さん 44歳㊦
上細井町



夫婦で農園を営む長谷川さんは、食文化に対する多様な消費者ニーズに応えるため、さまざまな取り組みを行っている。特に力を注いでいるのが、切った断面が星やハートの形になるキュウリで、プラスチックの型に入れて育てている。「他の人とは違うものを作りたいと考えました」(和俊さん) 飲食店のほか、学校や幼稚園の給食用に出荷を求められることもあるという。

にも積極的に取り組んでいる。農園で育てたニンジン100%を使用したジュースは赤城の恵ブランドに認証されている。「これからも地元の人たちに安全で安心な野菜を届けて、健康で豊かな食生活を送っていただきたいですね」(和俊さん) 農園近くに直売所を開く計画もあり、消費者との距離が一段と近くなる。

長谷川さん夫婦は野菜ソムリエの資格を持ち、野菜や果物の魅力を伝えている。「畑から採れたものを、できる限りそのまま食べていただきたいですね」(恵理子さん)「見た目も楽しんでください」(和俊さん)

野菜ソムリエ・長谷川さんの作る野菜が、私たちの食卓に笑顔と話題と健康を運んでくれる。



楽しい体験で鉄道に親しむ

上毛電鉄は4月28日、同社大胡電車で春のイベント2013を開催しました。会場では鉄道運転シミュレータを始め、楽しい催しが盛りだくさん。電気機関車との綱引き大会では重さ20tの車両が動き出すと、参加者から大きな拍手が沸き起こりました。



親子で楽しむ絵本のお祭り

こども図書館で5月3日から5日まで、こどもの日フェスティバルを開催。大勢の親子連れが訪れ、絵本の読み聞かせや南京玉すだれ、風船遊びなどを楽しみました。最終日は、小学生が図書館の仕事に挑戦。楽しみながら絵本の貸し出しなどを体験しました。



鮮やかなツツジが人々を魅了

5月3日から5日まで、敷島浄水場の一般開放を実施。約40種370本の色とりどりの美しいツツジが咲き誇りました。また、水道資料館や普段公開していない水道施設には、連休を利用して多くの子どもたちが訪れ、館内を興味深そうに見学していました。



こどもの日に多彩な催し

児童文化センターで5月5日、「こどもの日のつどい」が開催されました。科学ショーや工作教室のほか、館外ではソーラー機関車の乗車体験などが催され子どもたちは大興奮。HOGの運転体験では、帽子をかぶって運転手気分を満喫しました。